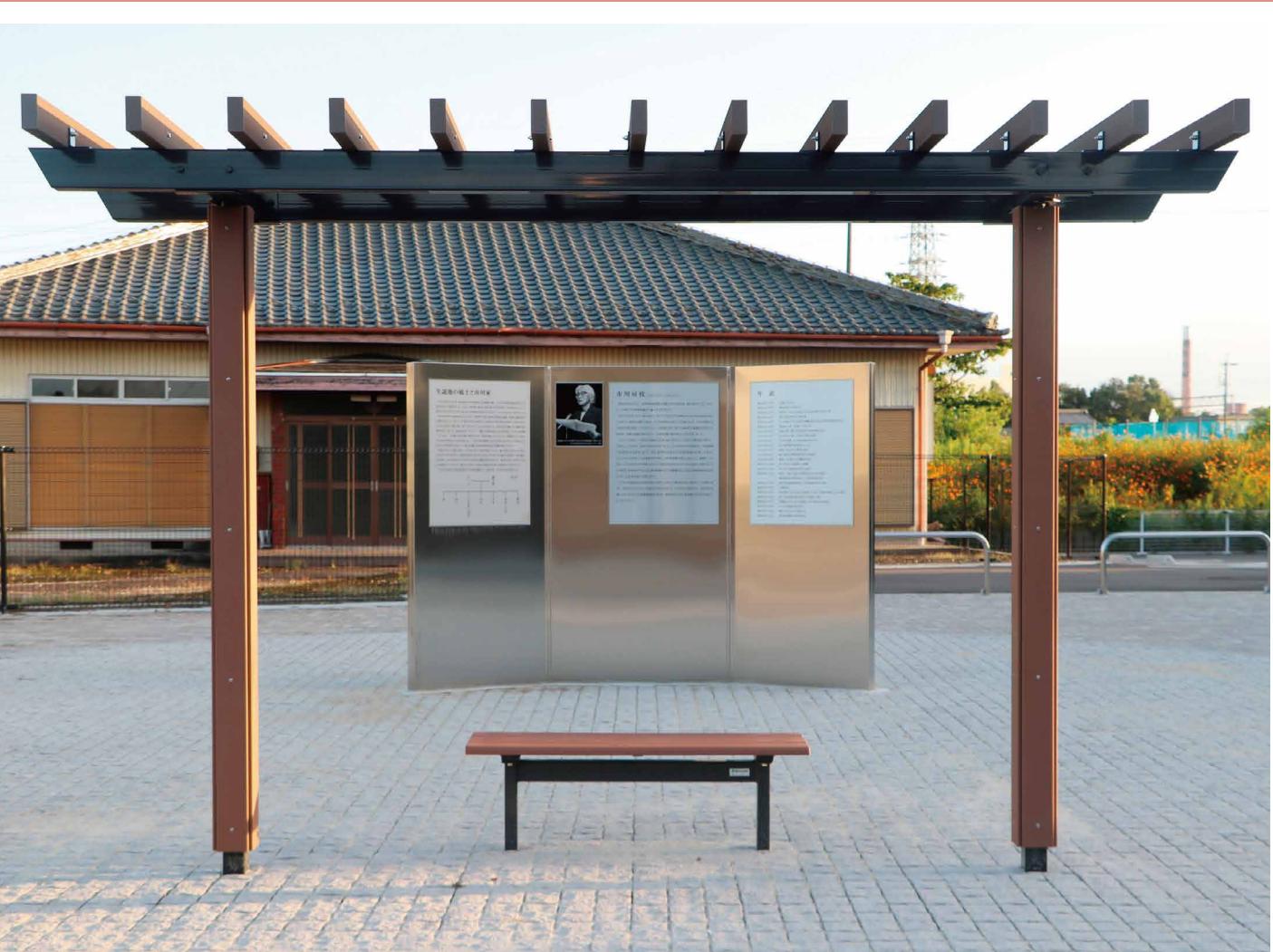


# いちのみやの芸術文化



市川房枝生家跡記念広場（一宮市明地）

- [特集] 市川房枝～愛知県時代の歩み～
- 一宮市芸術祭アルバム
- 第83回一宮市美術展（報告）
- [エッセイ] 我が町の絆を求めて！～瀬部の白台祭に託す～  
芸能部門 一宮民俗芸能連盟（瀬部山車・白台祭保存会）／川浦 克規
- 文化情報

2025.12

第68号

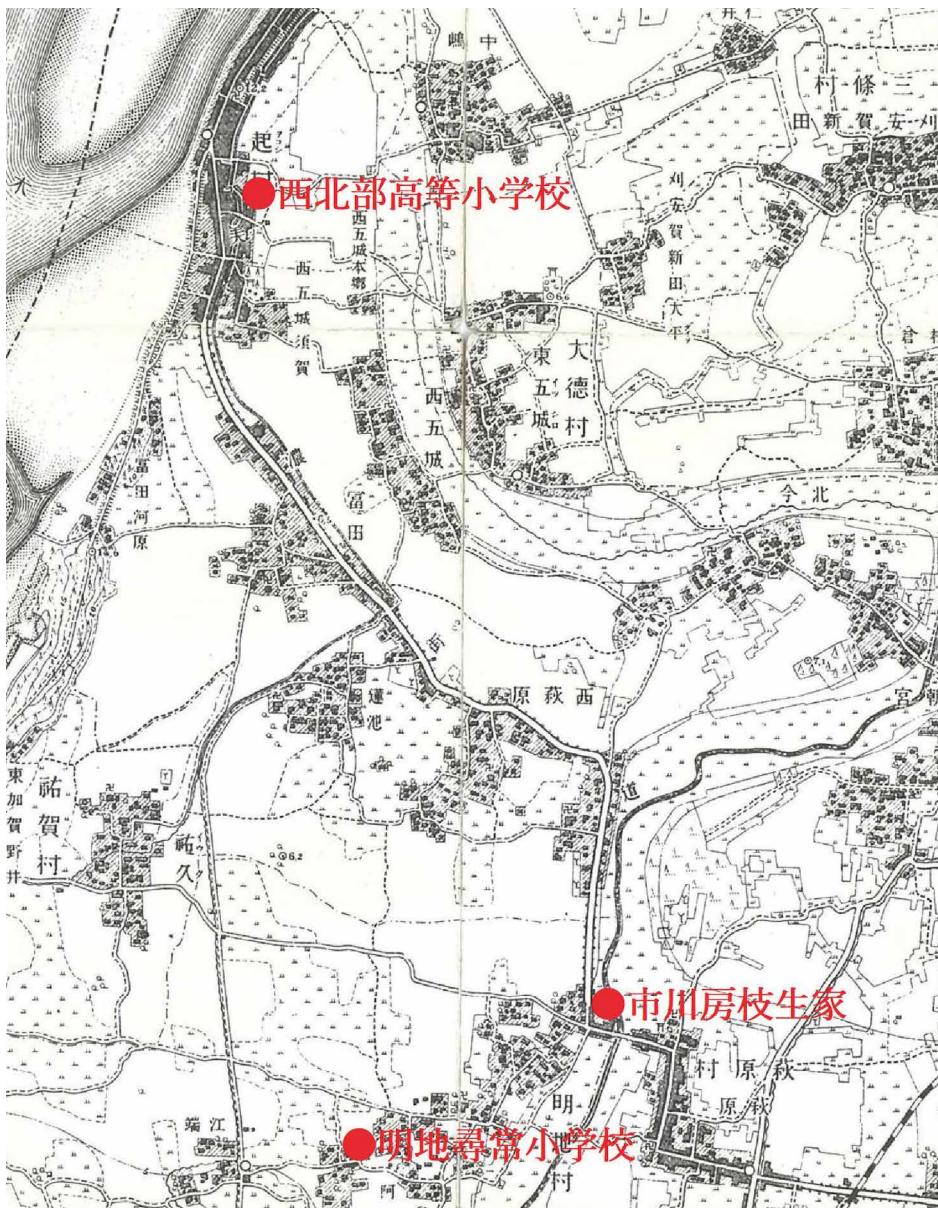
一宮市芸術文化協会

「宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。

市川房枝

愛知県時代の歩み

女性参政権の実現に活躍した市川房枝（一八九三～一九八一）は明治二十六年五月に明地村吉藤で生まれました。二十五歳で上京するまで、そのほとんどを愛知県で過ごしました。後年、房枝が自分の人生を振り返った時、その活動の原点は「父の暴力に耐える母の姿」であつたとされます。房枝の父、藤九郎は短気で、房枝の学校の成績が悪いと母にあたることもありました。一方で、酒や煙草、賭け事もしない真面目な農民であり、子どもの教育には支援を惜しみませんでした。また、勉強を強制させることもしませんでした。



#### ▲地図(明治時代中期の屋敷の生家周辺)

市三岸節子記念美術館・宮市尾西歴史民俗紹介する施設があります。みませんか?

房枝は明地尋常小学校(現在の朝日東小学校)に通いますが、勉強は苦手で、弁当を持って家を出ても、どこかに隠れていて、学校に行かない時もあつたそうです。高等小学校(現在の中学校)は起町にあつた西北部高等小学校(現在の起小学校)に通いました。自宅から起までは一里(四町)あり、松並木の中を通い、冬は「伊吹おろし」の強風に悩まされたそうです。担任の先生は、愛知県

の師範学校を卒業したばかりの岩田よねで、厳しいながらも、房枝にとって「憧れ」だつたそうです。師範学校を出て免許を持つ教員は、房枝には初めて出会つ「社会で活躍する女性」だつたのかもしません。

明治四十年（一九〇七）高等小学校を卒業した房枝は、兄の藤市がいるアメリカに行こうと決心しますが、県から許可されず、家で農業や養蚕を手伝いました。房枝は自分の太い手や肩ががつしりしているのは、この農作業で鍛えられたものと語っています。全国を飛び回つて演説する体力はこの時に培われたと考えられます。

翌明治四十一年（一九〇八）、上京して女子学院（東京都千代田区）に入学します。女子学院の創始者矢島楓子（やじまかほこ）（一八三三～一九一五）は明治時代の女性教育の先駆者でした。卒業生には、女性社会運動家の先駆けとなる福田英子（一八六五～一九一七）や後に房枝とともに女性参政権運動で活躍する久布白落実（くぶしらおちみ）（一八八一～一九七一）がいます。しかし、キリスト教系の学校である女子学院に房枝は馴染むことができず、また兄からの支援も無くなつたこともあり、四ヶ月余で退学します。

郷里に戻った房枝は、萩原町尋常高等小学校の代用教員となります。房枝は正規の教員になるため、明治四十一年（一九〇九）師範学校に入学し教師の道を進みます。入学当初は自由な校風に活き活きとしたキャンパスライフを過ごしていました。四年生の時、「良妻賢母主義」を押し付ける校長と対立して、授業をボイコットしたエピソードは有名です。



▲ラケットを持つ市川房枝  
（「雄弁」第22巻7号昭和6年）  
一宮市尾西歴史民俗資料館蔵

大正二年（一九一二）に卒業した後、母校の朝日尋常高等小学校に赴任し、翌年名古屋の小学校に移ります。房枝が教師をしていた時代は、「大正デモクラシー」と称される民主主義的な議論が盛んな時代でした。房枝は、東京の学校への異動を願い出ましたが、許されませんでした。体調不良も重なり教師を退職します。房枝の教師生活はわずか一年余でしたが、「女性も職業を持つべき」ということを語っていましたことを、後年の同窓会で教え子が思い出話として語っています。教師を退職した後は、名古屋新聞の記者を務めますが、東京での活動を熱望する房枝は、再び上京を決心し、大正七年（一九一八）二十五年間の愛知県での生活に別れを告げて上京します。上京後は、平塚らいでう等と新婦人協会を設立したり、労働問題や女性参政権運動に取り組み、昭和二十八年（一九五三）に参議院議員に当選しました。

今年は女性参政権が実現して八十年の年です。尾西歴史民俗資料館では特別展、尾西市民会館ではシンポジウムを開催します。ぜひ足をお運びください。

# 0回 芸術祭 (9・10月分)



## 音楽部



第23回一宮市民音楽会  
10月5日(日)  
尾西信金ホール(木曽川文化会館)  
一宮第九をうたう会



濃尾岳風会一宮支部一吟会  
9月23日(火・祝)  
尾西信金ホール(木曽川文化会館)  
濃尾岳風会一宮支部



第52回一宮音楽家協会定期演奏会  
10月12日(日)  
尾西信金ホール(木曽川文化会館)  
一宮音楽家協会



一宮合唱祭  
10月19日(日)  
尾西市民会館  
一宮合唱協会

## 第83回 一宮市美術展

11月13日(木)～16日(日)、一宮スポーツ文化センターで「第83回一宮市美術展」が開催されました。

市内を中心に近隣市町村や県外からも多数作品が寄せられ、審査の結果、入賞となった135作品をはじめ444作品が展示されました。

期間中は、3,300名を超える方々が来場され、作者の熱い思いが詰まった作品を熱心に鑑賞されていました。

会期中には審査員によるギャラリートークが行われました。入賞作品などの解説のほか、作者の方や、来場された方との交流もあり、作品に対する理解が深まる豊かな鑑賞体験をしていただきました。

市長賞を受賞された方は右のとおりです。なお、掲載順は順不同です。(敬称略)

### 市長賞

芳典子 H也なみ翠茜照美  
蘇英暁 C真さひと春美紅覚  
赤沖桜 T A E K藤永藤垣田  
紫段井 加伊松内西山谷



ギャラリートーク(洋画)  
解説 堀尾 一郎さん



ギャラリートーク(日本画)  
解説 高橋 弘子さん

# 一宮市

## 開催報告

### 文学部

#### 狂俳大会



#### 一宮現代詩発表会



### 美術部

#### 第26回能・狂言面作品展



#### 第59回麗筆会展



#### 一宮美術作家協会展2025



#### 第22回尾西展



#### 土筆の会展



#### 第34回みづゑ会水彩画展



#### 第24回一宮写真協会選抜写真展



#### 第35回手つむぎ・染め・織り展



#### 第2回美朋会展



#### 第19回IBK美術作家展



# 我が町の縁を求めて！

## 瀬部の臼台祭に託す

芸能部門 一宮民俗芸能連盟（瀬部山車・臼台祭保存会）川浦 克規



瀬部町内の風景

我が瀬部町内では、明治以前より「臼台祭」と言つ名の夜祭りが、毎年夏に行われてきました。古くは、観音様の命日である旧暦の七月十日に実施されており、農民の米作りの作業が一段落した時期でもありました。しかし、高度経済成長期になると農家の若者の多くがサラリーマンとなって町内を出ていきました。このため、祭りの

曜日に後片付けを行うという開催形式となりました。

瀬部町内の町民も、この六十年の間に他地域からの転入者が大きく増えて、現在では三分の一以上の町民が転入してきた方たちか、その子孫の方たちと思われます。総世帯数約一一〇〇世帯です。しかし、それに伴い、都会のマンション地帯程ではありませんが、人々の日常生活の忙しさもあって、町

担い手不足という問題に直面したことにより、お盆明けの八月十六日に行われるようになりました。その後、ますますサラリーマン化が進み、八月十六日が平日の場合には祭りの実施に支障をきたすため、平成二十八年からは、八月の第三土曜日に開催することになりました。こうして、今まで行われている土曜日に祭りを行い、日曜日に後片付けを行うという開催形式となりました。

同じ町内に住むことになったのは、「ご縁」です。日常の挨拶くらいは互いに言い合える状況を作り出すための手段として、より多くの町民が年一回の臼台祭に担い手として参加することが大切です。その場でお互いに名乗り合って、「言葉をかわす」。そのことにより第一歩を踏み出す。祭りへの参加を毎年継続することにより、「臼台祭」が町民同士の「接着剤」

となり、全国的に珍しいと推察します。臼台祭は平成二十一年に一宮市無形民俗文化財にも指定されている祭りです。祭りでは保育園の年長さんから、小中高大生、後期高齢者までが、交代しながら、一緒にお囃子の演奏をします。

八月第三土曜日　臼台祭をぜひご覧ください！お待ちしています！



子ども達のお囃子の演奏風景



臼台祭クライマックスの状況

となり、「こうしたつながりが『縁』となり、また防犯カメラの役目にもなります。

津島の天王祭に代表される巻藁提灯飾りは他地域にもあります、

提灯飾りを挽き臼の様に回転させることは、全国的に珍しいと推察します。臼台祭は平成二十一年に一宮市無形民俗文化財にも指定されている祭りです。祭りでは保育園の年長さんから、小中高大生、後期高齢者までが、交代しながら、一緒にお囃子の演奏をします。

八月第三土曜日　臼台祭をぜひご覧ください！お待ちしています！



# 加入団体の 催し

## 『能・狂言面の制作』

### 【問合せ先 一面会】

☎ (71) 2716

日時 ▼ 1月10日(土)・24日(土)

2月7日(土)・21日(土)

3月21日(土)・28日(土)

午前9時30分～正午

会場 ▼ アイプラザ一宮第5会議室

内容 ▼ 実地指導(初心者歓迎)

参加料 ▼ 月3,000円

申込み ▼ 当日直接会場  
(見学は無料)

希望月・当季雑句2句  
(初参加の方は希望者の  
み)・郵便番号・住所・氏  
名(ふりがな)・電話番  
号・参加経験の有無を  
記入の上、下記事務局  
まで送付

## 『市民短歌教室』

### 【問合せ先 真清短歌会】

☎ (85) 7074

日時 ▼ 1月11日(日)・2月8日(日)

申込み ▼ 当日直接会場

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 真清短歌会委員により実  
作指導します。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

申込み ▼ 当日直接会場

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 自由吟および課題吟を一  
宮川柳社委員が指導しま  
す。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

申込み ▼ 初参加の方は開催日の  
3日前までに電話で生  
涯学習課(☎ (85) 70  
74)

会場 ▼ 葉栗公民館

内容 ▼ 各自10句持参、互選によ  
り優秀作を記録に残しま  
す。(初心者歓迎)

日時 ▼ 1月10日(土)・2月14日(土)  
3月14日(土) 午後1時～

会場 ▼ 葉栗公民館

内容 ▼ 各自10句持参、互選によ  
り優秀作を記録に残しま  
す。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

## 『新年短歌大会』

### 【問合せ先 真清短歌会】

☎ (85) 7074

日時 ▼ 1月25日(日) 午後1時～

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 事前募集した中から互選に  
より優秀作を表彰します。

参加料 ▼ 500円(見学無料)

申込み ▼ 詳細は事務局までお問  
い合わせください。(見  
学は申込不要)

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 事前募集した中から互選に  
より優秀作を表彰します。

参加料 ▼ 500円(見学無料)

申込み ▼ 詳細は事務局までお問  
い合わせください。(見  
学は申込不要)

## 『(公社)中部日本書道会 一宮支部講演会』

### 【問合せ先 (公社)中部日本書 道会一宮支部】

☎ (090) 14265-6098

日時 ▼ 2月15日(日)

午後4時～5時30分

会場 ▼ 一宮商工会議所3階大ホール

演題 ▼ 私の書

講師 ▼ 松下英風さん(口展会友、  
読売書法会常任理事・(公社)  
中部日本書道会理事長)

申込み ▼ 当日直接会場

入場料 ▼ 無料(一般聴講歓迎します)

申込み ▼ 当日直接会場

[題 字]武 山 翠 屋

[編集・発行]一宮市芸術文化協会

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 当季雑詠2句を一宮市民  
俳句教室委員が指導しま  
す。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

## 『濤聲會作詩教室』

### 【問合せ先 一宮漢詩濤聲會】

☎ (78) 7953

日時 ▼ 1月6日(火)・2月3日(火)

会場 ▼ 中央図書館

内容 ▼ 漢詩文の作り方の指導を  
はじめ、持ち寄った創作  
詩の添削の検討を会員間  
で行います。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 年3,000円

申込み ▼ 当日直接会場

## 『狂俳月例会』

### 【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎ (78) 5002

日時 ▼ 1月10日(土)・2月14日(土)  
3月14日(土) 午後1時～

会場 ▼ 葉栗公民館

内容 ▼ 各自10句持参、互選によ  
り優秀作を記録に残しま  
す。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

申込み ▼ 初心者歓迎)

会場 ▼ 一宮市民俳句教室

内容 ▼ 各自10句持参、互選によ  
り優秀作を記録に残しま  
す。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

申込み ▼ 初心者歓迎)

会場 ▼ 武山翠屋

内容 ▼ 各自10句持参、互選によ  
り優秀作を記録に残しま  
す。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料